

### 3 柔軟で豊かな社会の実現 『暮らし』 『環境』

指標：人々が海辺に親しむことのできる海岸の延長【約6,700km(H14)→約6,790km(H17)→約6,800km(H19目標値)】  
 指標：失われた自然の水辺のうち回復可能な自然の水辺の中で再生した水辺の割合【0(H14)→約11%(H17)→H19までに約2割再生】

○事業費約10億円（対前年度比0.85）、国費約5億円（対前年度比0.83）

#### ① ユニバーサルデザインによる快適な海辺の実現

ユニバーサルデザイン化により、海岸を訪れる全ての人々が利用しやすく、地域の教育・福祉等と連携した海岸整備を推進する。

##### ●利用しやすく、海辺へのアクセスがしやすいバリアフリーに配慮した海岸づくり



浦港海岸（兵庫県）

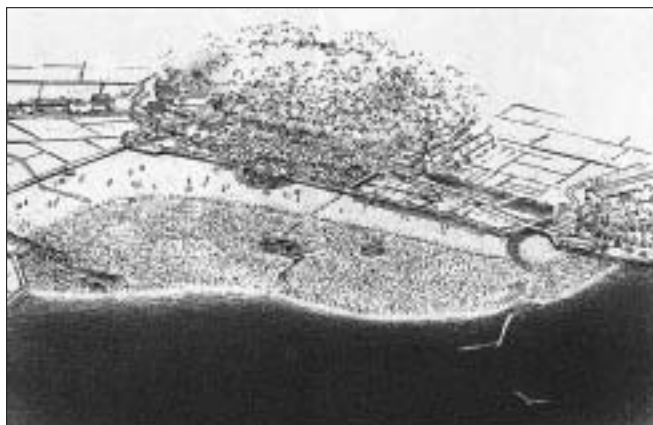


北九州港海岸（北九州市）

#### ② 海辺の環境の保全・創造

多様な生物の生息・生育や優れた自然環境の形成など自然環境の積極的な保全や快適な海岸利用の促進及び生活環境の向上に資する海岸づくりを積極的に進める。

##### ●生物の生息環境に配慮した海辺づくり



滞筋やタイドプールの確保や養浜する粒径を高さ別に変化させることにより、稀少生物(カブトガニ、スナガニ)等の生息環境を確保・拡大する。

竹原港海岸（広島県）

##### ●自然との調和に配慮した石積の突堤



手結港海岸（高知県）